

C&Fロジ、家庭用冷食の保管伸び4-6月期増収増益

Edited By LogisticsToday On 2020/08/07

C&Fロジホールディングスが7日発表した4-6月期(2021年3月期第1四半期)連結決算は、売上高277億9100万円(前年同期比1.3%増)、営業利益15億7800万円(39.9%増)、四半期最終利益10億4200万円(32.2%増)となった。

両輪の通過型センター(TC)事業、保管在庫型物流(DC)事業ともに増益を確保したが、特にDC事業で家庭用冷凍食品の物量が例年を大きく上回る状態となり、利益を押し上げた。

通期は売上高1117億円(前期比0.9%増)、営業利益56億円(15.3%増)、最終利益37億円(7.8%増)と増収増益を見込む。

■決算集計(見出し:年/決算期/四半期、[]:前年同期比、単位:百万円)	21/3/1Q	20/3/通	20/3/3Q	20/3/中
	[前年同 期比]	[前年 同期比]	[前年同 期比]	[前年 同期比]
売上高	27,791 [1.3%]	110,676 [2.8%]	84,230 [2.4%]	55,724 [2%]
営業利益	1,578 [39.9%]	4,856 [18.8%]	4,234 [8.8%]	2,630 [3.9%]
最終利益	1,042 [32.1%]	3,432 [23.4%]	2,907 [8.2%]	1,785 [-1.3%]
売上高営業利益率	5.7%	4.4%	5.0%	4.7%

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/391114>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.